

ごみの減量について

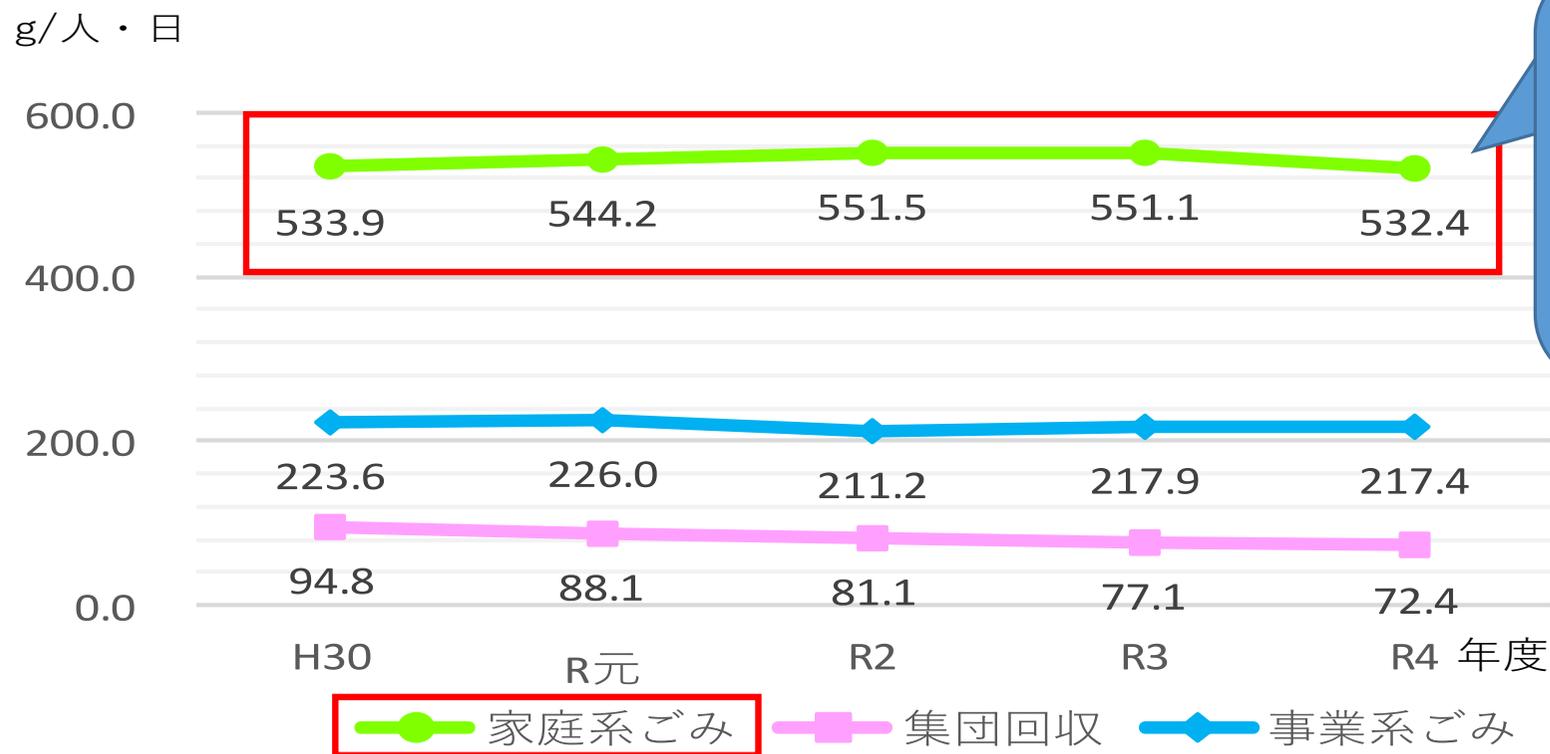


【川西市の現状】 減量に向けての3Rの推進

3Rとは…リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の3つのRの総称

リデュース (発生抑制)	<ごみになるものを発生させないことです>
	・ 食べ残しを減らしたり、生ごみの水切りをする
	・ マイバックやマイボトルを利用する
リユース (再使用)	<使えるものを繰り返し使うことです>
	・ いらなくなったものをゆずりあう
	・ バザーやリユースショップを活用する
リサイクル (再生利用)	<ごみにせず資源として再利用することです>
	・ ごみを正しく分別する (プラスチック製容器包装や雑がみなど)
	・ 再生資源集団回収へ参加する

【川西市の現状】 1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が減っていない

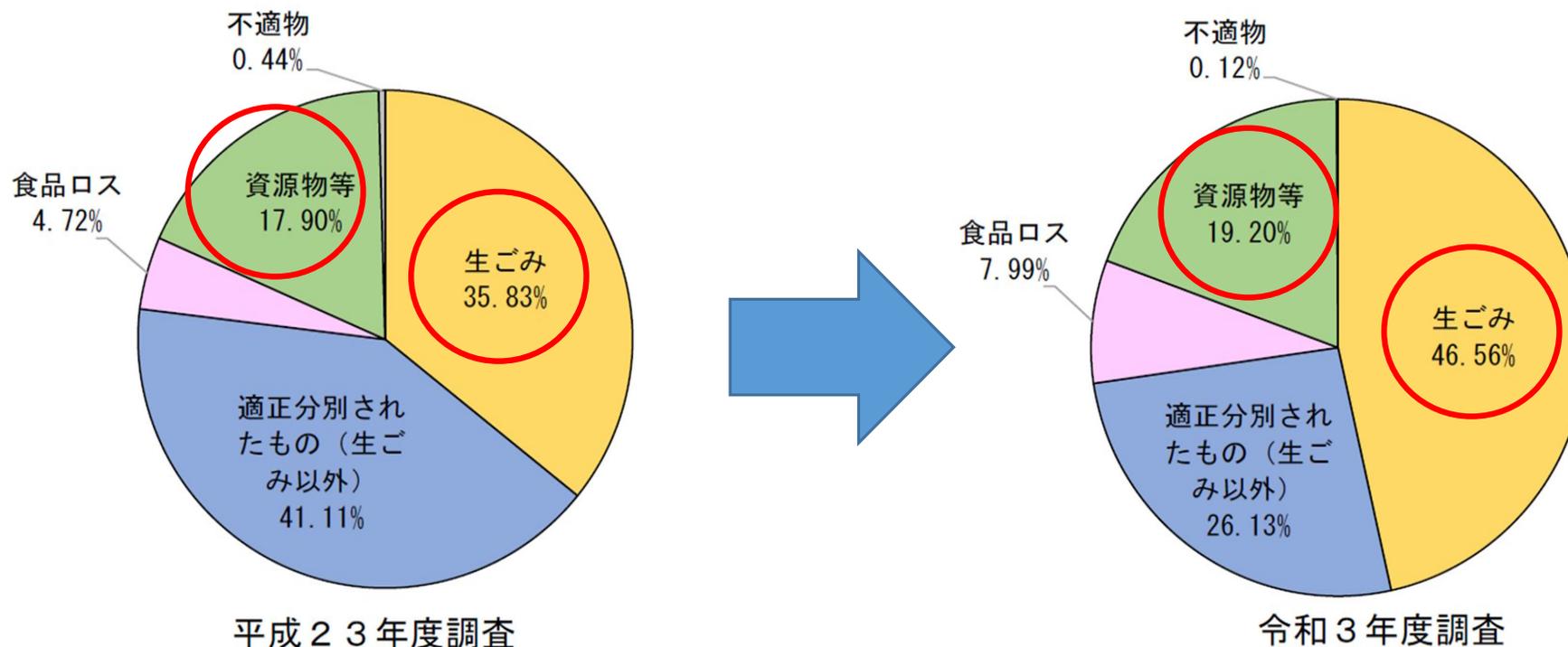


～R4年度の減少の要因～
 令和3年度の収集体制の見直し説明会、令和4年度からの体制見直しで、減少したと考えられます。

◎市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は、令和3年度まではやや増加しており、令和4年度は平成30年度と同程度に戻り、減っていません。
 ⇒市民1人が1日に家庭から出すごみの量は減っていない状況です。

【川西市の現状】 燃やすごみの中に資源化できるものが混ざっている

本市全体の適正排出割合（平成23（2011）年度調査との比較）



◎燃やすごみの中身を見ると、リサイクルできる「資源物」が混ざっている状況で、その割合もこの10年間で増加しています。
⇒分別が十分にできていない状況です。

(参考) ごみ組成分析の状況



<プラスチック製容器包装>



<紙パック>

◎これは組成分析の写真です。

◎燃やすごみの中にリサイクルできるものが含まれていることがわかります。

ごみ減量のためのスローガンと込められた思い

※91gは、身近なもので例えると
鶏卵約2個分

「ごみにする？資源にする？ それは結局あなた次第」 ～今日から1人1日マイナス91g～

<スローガンに込められた思い>

・このスローガンは、計画策定の中で「廃棄物減量等推進審議会」の委員の方々が議論し決定したもので、以下の思いが込められています。

- 思い① ごみ減量をするうえで非常に重要な「**分別**」を**意識**してもらう。
- 思い② 市民の皆さまに、**分別**を「**自分事**」として捉えてもらう。
- 思い③ **具体的な目標値**を入れることで、取り組みにつなげてもらう。

川西市のごみの状況と方向性

- ・これまで市民の皆さまにもご協力いただき、様々な取り組みを行ってきたことで、一定の効果を得ることができました。
- ・しかし現状では、1人が1日に出す**家庭からのごみの量が減っていない**、また、**分別が十分にできていない**状況です。
- ・これまでの3Rの取り組みや啓発だけでは**限界も現れてきており**、さらにごみ減量を進めるためには、**新たな取り組みが必要**です。

⇒着実に減量するために、減量効果の大きい「**指定ごみ袋の有料化**」に取り組んでいきたいと考えています。

【効果的なごみ減量化の取り組み】 指定ごみ袋の有料化制度の概要

<袋イメージ>

①指定ごみ袋の有料化とは

市が指定するごみ袋（指定袋）を購入することで、ごみを出す量に応じて、手数料を負担いただく仕組み



②全国の導入状況

令和6年4月までの導入状況 65.9%

(全国1,741市区町村の内、1,148自治体)

※出典：「全国市区町村の有料化実施状況（2024年4月現在）」
(東洋大学経済学部 名誉教授 山谷修作氏ホームページ)



【効果的なごみ減量化の取り組み】有料化により期待される効果

1 ごみ減量・資源化の促進

袋1枚から費用がかかるため、ごみを減らそうとする意識が働き、ごみの減量・分別効果が期待されます。

2 ごみの出す量に応じた費用負担

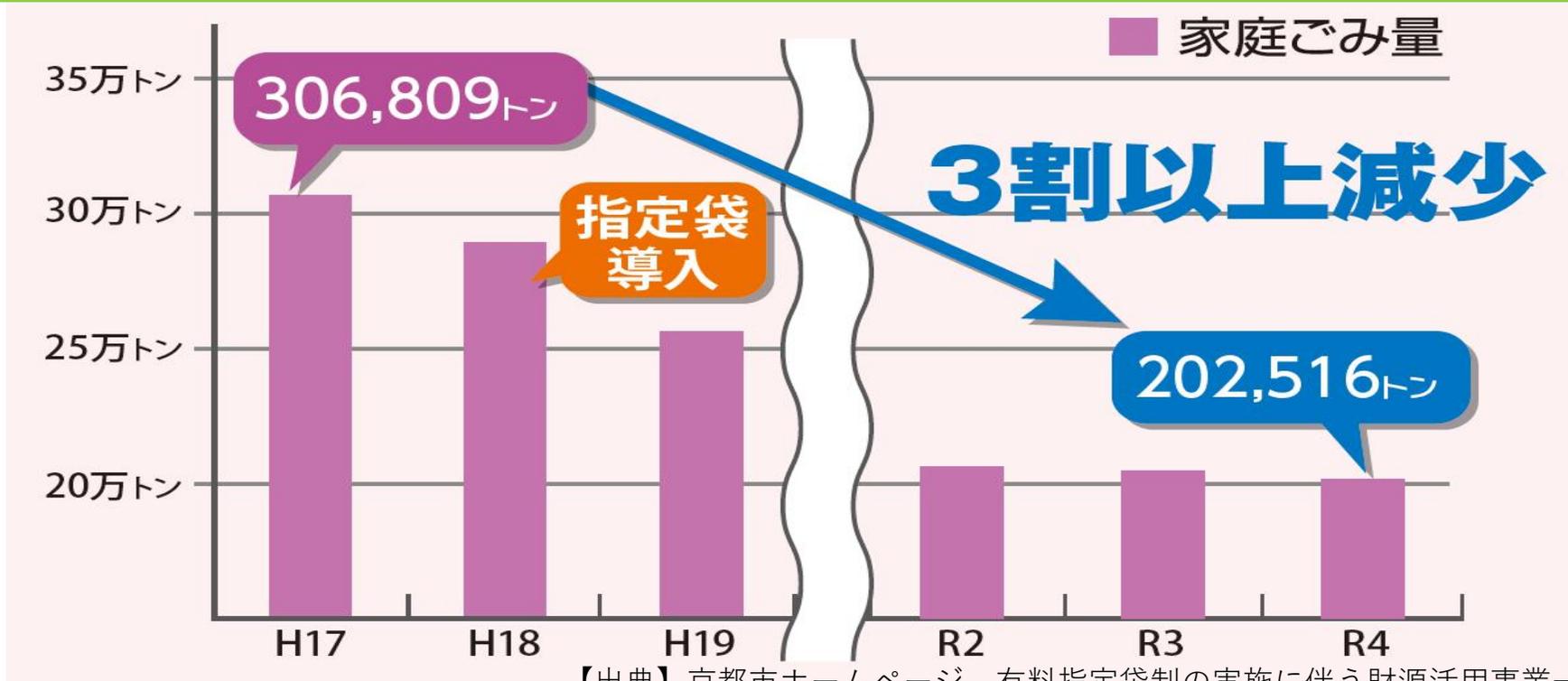
ごみの出す量に応じた費用負担となるため、ごみを少なく出す人はごみ袋も少なくすみ、負担が軽くなります。

3 二酸化炭素（CO₂）の削減

ごみの量が減ることで収集や処理で排出される二酸化炭素（CO₂）の削減につながります。

【効果的なごみ減量化の取り組み】 有料化によるごみの排出抑制効果

京都市では、平成18年度に有料化を導入して以降、
導入前より家庭ごみが**3割以上減少**



⇒川西市では「燃やすごみ」への導入を検討しています。

※ごみ袋の詳細はまだ決まっていません。

【効果的なごみ減量化の取り組み】 有料化による手数料収入の使い道

- ・ 有料化を導入することで、市に収入（歳入）が入ることになります。

- ・ その収入の使い道として、有料化にかかる経費のほかに、ごみ排出やごみステーション利用のお困りごとなど、**ごみ排出に対する課題の解決のために役立てたい**と考えています。

⇒ 本日は、皆さんからご意見をお聞きさせていただき、参考にしたいと考えています。